

3. 履修コースの選択

授業科目には必修科目と選択科目があります。そのうち選択科目は、どの科目を履修するかを自分で決めることができます。自分の関心や目的に従って、学びたい科目や学ぶべき科目を決めて、履修することができるということです。しかし、特に「IV群：専門選択科目」については、どの科目を履修すべきか戸惑う人もいるでしょう。そこで、法学部では、卒業するための要件とは関係ありませんが、3つの“履修コース”を設けて、各履修コースに“コース認定科目”と“コース推奨科目”を示すことにしました。“コース認定科目”は、履修コースの修了の「認定」に必要な科目で、この科目の単位をすべて修得すれば、履修コースの修了が認定されます。これに対して、“コース推奨科目”は、各履修コースで単位を修得することを特に「推奨」する科目です。

- ① 選択することができる履修コースは1つだけです（なお、履修コースを選択しなくても、卒業することはできます。）。
- ② 履修コースの新規登録は、1年次の3月に受け付けます（詳細は、ポータルで確認してください）。
- ③ 履修コースの登録変更は、2年次・3年次の3月に受け付けます。
- ④ “コース認定科目”の単位をすべて修得した人は、卒業時に修了証を受け取ることができます。

〔法務コース〕

法曹等の法律系国家資格、法律系公務員（裁判所事務官・国税専門官・検察事務官等）として活躍したい人のためのコースです。

履修年次	1年～		2年～		3年～	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
コース認定 科目 (9科目・ 30単位)	憲法Ⅱ（統治）	4	行政法Ⅰ	4	行政法Ⅱ	4
	民法Ⅵ（親族）	2	民法Ⅲ（担保物権）	2		
	刑法Ⅰ（総論）	4	民法Ⅴ（債権各論）	4		
			民法Ⅶ（相続）	2		
			刑法Ⅱ（各論）	4		
コース推奨 科目 (5科目・ 20単位)			税法	4	労働法	4
			会社法	4		
			民事訴訟法	4		
			刑事訴訟法	4		

〔公共政策コース〕

行政系公務員（国家・地方）、警察、消防等を目指す人、議員、NPO等の地域住民の暮らしを守る活動に従事したい人のためのコースです。

履修年次	1年～		2年～		3年～	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
コース認定 科目 (10科目・ 34単位)	憲法Ⅱ（統治）	4	行政法Ⅰ	4		
	政治学原論	4	民法Ⅲ（担保物権）	2		
	行政学	4	民法Ⅴ（債権各論）	4		
	財政学	4	政策学Ⅰ（総論）	4		
	マクロ経済学（国際経済を含む）	2				
	ミクロ経済学（国際経済を含む）	2				
コース推奨 科目 (10科目・ 30単位)	政治思想史	4	社会政策	2	地方自治法	4
	日本政治史	4	地方行政論	4		
	西洋政治史	4	経済政策	2		
	地方財政論	2				
	地域社会論	2				
	政策分析	2				

〔企業コース〕

法的知識をもって民間企業で活躍したい人（企業法務）、国際感覚・外国法の知識をもって民間企業で活躍したい人（国際企業）のためのコースです。

履修年次	1年～		2年～		3年～	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
コース認定 科目 (9科目・ 30単位)			税法	4	商取引法	2
			民法Ⅲ（担保物権）	2	労働法	4
			民法Ⅴ（債権各論）	4	社会保障法	4
			商法総論	2		
			会社法	4		
			民事訴訟法	4		
コース推奨 科目 (11科目・ 32単位)			知的財産法	4	保険法	4
			*専門特講Ⅰ（消費者法）	2	海商法	2
					支払決済法	2
					金融商品取引法	2
					民事執行・保全法	2
					倒産法	4
					環境法	4
					経済法	4
					*専門特講Ⅰ（企業法務）	2

* 専門特講Ⅰ（企業法務）および専門特講Ⅰ（消費者法）は、毎年度開講されるとは限りません。開講されるかは、シラバスなどで確認してください。